

3.3.5 EMC 推進室

中期計画期間全体

目 標

電磁環境に係る研究開発の全体計画、予算計画、外部関係機関との調整、その他必要な業務を行う。

目標を達成するための内容と方法

- (1) プロジェクトの推進：グループリーダー会議及び全体会議を定期的で開催し、各グループの進捗状況の確認、センター長（統括リーダー）への情報提供及び指示事項の具体化などを通してプロジェクトの効率的な推進を図る。
- (2) 共同研究、研究委託などの外部機関との連携・促進を図る。
- (3) サポートメンバー会議、研究成果報告会などを開催する。
- (4) 標準化活動の推進を図る。

特 徴

電磁環境に係る研究開発の全体計画、予算計画、外部関係機関との調整を図ることにより、プロジェクトの効率的な推進を図る。

今年度の計画及び報告

今年度の計画

- (1) 研究課題の調整、予算配分及び予算管理、プロジェクトの進捗管理、人材資源の発掘等。大型研究施設の管理、長中期整備計画の策定。
- (2) プロジェクト会議の開催、全体会議（勉強会）の開催。共同研究等の企画・推進。
- (3) サポートメンバー会議の立ち上げ、推進。研究報告会・広報活動等の企画・推進。
- (4) CISPR/ITU-R/IEC 等の標準化活動の推進・調整。電技審・学会・各種委員会への寄与及びその情報管理と共有。

今年度の成果

- (1) 研究課題の調整等
 - ① 研究課題、特に「電波の安全性評価」について調整・予算管理を行い、プロジェクトの推進・管理を行った。
 - ② 理事長指摘事項（電磁波セキュリティの推進）に関して、情報通信部門情報セキュリティ関連グループと研究課題の発掘・整理調整を行って結果を報告した。
 - ③ 電車内電磁環境測定の解析結果を報告した。さらにエレベータ内電磁環境測定を行った（生体 EMC グループ、電波産業会、株式会社ドコモ、北海道大学と協力）。
 - ④ 長波標準電波帯（40kHz）電磁環境調査を行い、解析結果を報告した（EMC 計測グループ、財団法人 TELEC、株式会社カシオと協力）。
 - ⑤ 電子レンジ妨害波の APD（振幅確率分布）測定 / CISPR（国際無線障害特別委員会）測定法の同時測定を行って解析・報告した（通信システム EMC グループ、EMC 計測グループ、電機工業会と協力）。ループアンテナの校正法に関する調査を実施（計測 EMC グループ、（財）TELEC と協力）。
 - ⑥ CISPR Publication17（フィルタ素子の測定法）の改訂に関する調査を実施（計測 EMC グループ、素子製造メーカ、財団法人電波技術協会と協力）。
- (2) プロジェクト会議の開催等

センター会議を5月末まではほぼ毎週、その後は月2回開催し、全体会議を2回開催した。また、国内外機関（TELEC、英国 NPL、韓国 RRL 等）との連携を深めるための調整を行った。
- (3) 研究報告会等

電磁環境センター発足シンポジウムを開催した。参加者は官公庁・民間企業・大学から68名、招待基調講演、各グループリーダーの活動紹介に続き、民間団体からの提言をパネルディスカッションで行った。同時に研究員によるパネル展示を行い具体的な研究紹介を行った。センターパンフレットを作成しイベント時に配布、ホームページを改訂し、グループごとの更新を容易にした。
- (4) 標準化活動等

CISPR 規格策定に日本代表として参画し、プロジェクトリーダーとして日本提案規格（APD 測定法の提案）の標準化に寄与した。今年度の成果として、FDIS（国際規格原案）1件、CDV（投票原案）2件、DTR（技術報告原案）1件、CD（委員会原案）2件、WG（作業グループ）文書2件。

電技審：CISPR 委員会副主査。同委員会 B グループ会議主任。同委員会 A グループ会議幹事。

電波環境協議会妨害波委員会委員。



電磁環境センター発足シンポジウムの様子